



どうしても自宅で介護したい。」



平素は格別のご贔屓にあずかり、お世話になりまして誠にありがとうございます。
今月も地域で暮らすお一人おひとりの療養生活を支えられますように、地域連携とおもてなしの心に磨きをかけて参ります。

コロナウイルス感染の終息傾向に向かっている様ですが、世界的な流れで「ウィルスとの共存・共生で」と脱マスク・自己判断自己責任へ変換の時期でもあります。とはいえ感染は無くならず、基礎疾患のある方は特に自己防衛や免疫力強化が必要でしょうし、皆様も換気とうがい・手洗いの励行、マスク着用等の予防と、まめな水分補給、それと、十分な睡眠と栄養で免疫力アップを心がけましょう。今回は、コロナ禍で入院中会えないもどかしさから「どうしても自宅で介護したいを叶えた看護」というテーマです。転倒骨折で安静中に嚥下困難になり、胃瘻造設術。入院中に急性白血病が見つかり、治療開始。絶望のなかで、入院中コロナ禍で面会禁止の苦悩。感染リスクがある中で医師が決断したことは、「無理のない様に退院に向けて治療しましょう。ご家族に会えるようにしましょう」とご主人に話し、ご主人は叶わぬと思っていた退院を希望しました。プロの集団が知恵を絞って、出来る事を信じて、退院を実現した事例です。療養者が意思疎通ができなくても「思い」をくみ取り、ご家族にも寄り添い、おもてなしの看護で尊厳の保持と療養者と介護者の自分らしい生活を人生の最後まで続ける事が出来る様、地域の包括的な支援「地域連携・医療連携」が大切だと考えます。

ホームページも毎月更新しております。『ネットワーク訪問ナースステーション』で検索すると、一番上に出てきますので、是非覗きにきてくださると嬉しいです。PTさん大募集中です。お問い合わせください。



G様。73歳女性。現病歴：急性前骨髄球性白血病・脳梗塞後遺症・認知症・胃瘻造設状態。要介護5。寝たきり。夫と二人暮らしで夫が主介護者。子供は4人。既婚者で近隣在住だが日々の介護力ではない。夫も肺の難病患者。白血病の化学療法中。コロナ禍で全く面会できない状態に、会えないもどかしさから、自宅で面倒見られないだろうかと主治医に相談し、病院からケアマネさんに相談あり、ケアマネさんが訪問看護師に相談し、何とかご主人の気持ちを後押ししてあげたいとチームで協力して、2泊3日の退院をして試みた。感染させないように最善の注意を払い、痰の吸引や胃瘻管理は病院で研修を受けたが、実際は手技が出来て居ない為、手技の指導抗がん剤投与と健康観察、ご主人の精神的フォローを行った。2回目の退院は1週間、3回目は10日、4回目は14日、5回目は10日間の退院で、退院するたびに顔の表情も良くなり、無事に化学療法終了し、5回の自宅退院練習を終え退院に漕ぎ着けた。仮退院中は特別訪問看護指示書で日に複数回訪問でフォローしていたが、本退院では週三回の看護師訪問と訪問入浴のサービスが入り、ご主人がやりたかったような介護でフォローしている。ご主人もだいぶ介護が慣れてきているので、車椅子をレンタルし、看護師訪問中は車椅子に移乗し、足浴手浴、胃瘻からの食事を行っている。起床していると心肺機能が向上し、状態が改善されることと、昼夜逆転の改善を図っている。無表情で発語なく寝かされていた時と違い、自分で体動し、顔の表情がにこにこするようになった。ご主人が「病院に預けて元気なよりは、ダメでも家族がいつでも会えるようなところで、今まで苦労ばかりかけたので自分が看病したい。」と切望されたことに心動かされ、病院の皆さんと地域のケアマネさん、訪問看護が可能を信じて始めた退院だった。御主人、病院スタッフ、在宅訪問医療、ケアマネさんや看護師も自信が持て、多くの可能性を信じて、ケアを行っている。先日念願の車椅子で外出もできた。「無理、可能性ないから始めないのではなく、どうしたらできるかから始める看護支援」で、皆様の笑顔が輝いていられるように「決してあきらめない看護」をこれからも続けていく所存です。まずは何なりとご相談ください。お待ちしております。(橋井)



神経難病、認知症、精神疾患、がんターミナル、看護師によるリハビリ等を特に得意としております。悩んでいるご利用者に医療相談や訪問看護お試しサービスを無料で行ってまいります。お気軽にお問い合わせください。



24時間対応

ターミナルケア・お看取りも
対応いたします

訪問地域 その他の地域もぜひご相談ください！
世田谷区
松原・代田・代沢・豪徳寺・梅ヶ丘・宮坂・経堂・赤堤
杉並区
永福・和泉・浜田山・下高井戸

〒156-0043
世田谷区松原2-4-15エテルノ明大前203
ネットワーク訪問ナースステーション
TEL:03-6762-2272
FAX:03-6767-3703
03-6379-0684

